とねまち議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

「とねりん」
利根町観光協会
イメージキャラクター

９月定例会

No.１４８
２０１９.１２.６

（いきいき茨城ゆめ国体　利根町ウオーキング大会の様子）

令和元年第３回　議会定例会の議決等結果

会　　期　令和元年９月５日（木）～令和元年９月26日（木）
審議議案　・町長提出議案　20件　・陳情　1件

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
			賛成	反対	峯山	山﨑	片山	大越	石井	石山	花嶋	井原	五十嵐	若泉	新井	船川
議案第47号	利根町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第48号	利根町職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	7	4	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	－
			討論		賛	賛	反	賛	反			反				
議案第49号	利根町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第50号	利根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第51号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	6	5	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	－
			討論		反				反			反				
議案第52号	令和元年度利根町一般会計補正予算（第３号）	原案可決	10	1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第53号	令和元年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第54号	令和元年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第55号	令和元年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第56号	令和元年度利根町介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第57号	令和元年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第58号	令和元年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第59号	平成30年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第60号	平成30年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－
議案第61号	平成30年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第62号	平成30年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
			討論		反				賛							
議案第63号	平成30年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第64号	平成30年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第65号	平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第66号	利根町教育委員会教育長の任命について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
			討論			賛							賛	賛		
陳情第９号	過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての陳情書	採択	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

「○」は賛成、「×」は反対、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論 を表します。
議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

令和元年第３回　議会定例会　議案概要

議案第47号　利根町印鑑条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

住民基本台帳法施行令の改正により、住民票への旧氏の記載が可能になったため、町においても旧氏による印鑑登録を行えるよう規定を改めるものです。

議案第48号　利根町職員定数条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

高齢化が加速する中、高齢者の様々な課題等に対し包括的に対応するため主任介護支援専門員を、また、精神疾患がある方が増加する中、育児、介護、障害、貧困など複合化・複雑化した課題に対応するため精神保健福祉士を、それぞれ１名ずつ計２名を町の職員定数に追加するものです。

議案第49号　利根町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

災害弔慰金関係法令の改正により、引用する法令の条番号を整理するため改めるものです。

議案第50号　利根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

基準の一部を改正する省令が施行され、放課後児童支援員認定資格研修を実施できる者として指定都市の長が追加されたことにより、町においても放課後児童支援員の資格要件を改めるものです。

議案第51号　消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例 ……【原案可決】

消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、関係条例の使用料の規定を改めるものです。

議案第52号　令和元年度利根町一般会計補正予算（第３号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1億7,475万円を追加し、総額を56億9,776万5千円とするものです。歳入の主なものは、繰入金の減額と、地方交付税及び繰越金の増額です。歳出の主なものは財政町政基金費などの諸支出金の増額です。

議案第53号　令和元年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第１号） ……【原案可決】

事業勘定の予算額に歳入歳出それぞれ2,701万6千円を追加し、総額を23億9,135万4千円とするものです。また、診療施設勘定の予算額に歳入歳出それぞれ809万8千円を追加し、総額を1億3,165万4千円とするものです。

議案第54号　令和元年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1,562万5千円を追加し、総額を3億5,327万2千円とするものです。

議案第55号　令和元年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第１号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ176万4千円を追加し、総額を1,596万1千円とするものです。

議案第56号　令和元年度利根町介護保険特別会計補正予算（第２号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ6,258万2千円を追加し、総額を15億2,703万円とするものです。

議案第57号　令和元年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第１号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ153万3千円を追加し、総額を1,205万1千円とするものです。

議案第58号　令和元年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） …… **【原案可決】**

予算額に歳入歳出それぞれ185万7千円を追加し、総額を4億5,150万円とするものです。

議案第59号　平成30年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第60号　平成30年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第61号　平成30年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第62号　平成30年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第63号　平成30年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第64号　平成30年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

議案第65号　平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件 …… **【認　　定】**

※議案第59号～議案第65号の詳細は、決算審査特別委員会のページを参照してください。

議案第66号　利根町教育委員会教育長の任命について …… **【同　　意】**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第１項の規定により、議会の同意を得るものです。

決算審査特別委員会

平成30年度決算議案の審議は「決算審査特別委員会」を設置し、この特別委員会において慎重に審査され定例会の最終日に委員長から次のとおり委員会審査の経過及び結果の報告がありました。

＜審査結果：委員長報告＞　新井　邦弘　決算審査特別委員会委員長

本委員会は令和元年９月５日本会議において設置され、議案第59号　平成30年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件から議案第65号　平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件までの７議案について付託されたものです。

決算審査特別委員会は９月17日から９月20日まで４日間、委員10名出席のもと開催し、町長を初め各課長及び担当職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

付託された議案全て原案どおり可決、認定すべきものと決定いたしました。

ただし、議案第62号　平成30年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件においては、峯山委員から反対の討論があり、また、石井委員からは賛成の討論が出ました。表決の結果は、賛成が８票、反対が１票でした。それ以外の議案については全会一致でございます。

平成30年度歳入歳出決算（一般会計・特別会計）

（単位：円）

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		5,567,031,681	5,347,669,309	219,362,372
特別会計	国民健康保険（事業）	2,372,450,689	2,322,146,007	50,304,682
	国民健康保険（施設）	131,740,542	117,101,553	14,638,989
	公共下水道事業	275,820,251	263,313,989	12,506,262
	町営霊園事業	13,253,910	9,725,377	3,528,533
	介護保険	1,155,410,884	1,393,036,062	62,374,822
	介護サービス事業	14,838,710	13,305,473	1,533,237
	後期高齢者医療	417,706,691	416,009,218	1,697,473

一般会計歳出の状況

【性質別】（単位：千円，％）

区分	30年度決算額	構成比
人件費	1,297,654	24.3
物件費	733,951	13.7
維持補修費	73,899	1.4
扶助費等	884,866	16.5
補助費等	696,450	13.0
投資的経費	375,819	7.0
公債費	355,327	6.6
積立金	287,524	5.4
投資・出資・貸付	2,100	0.0
繰出金	640,079	12.0
合計	5,347,669	100.0

【目的別】（単位：千円，％）

区分	30年度決算額	構成比
議会費	89,759	1.7
総務費	1,034,902	19.3
民生費	1,696,968	31.7
衛生費	417,914	7.8
農林水産業費	216,747	4.1
商工費	21,699	0.4
土木費	420,974	7.9
消防費	442,857	8.3
教育費	650,522	12.2
公債費	355,327	6.6
合計	5,347,669	100.0

人事案件

▼利根町教育委員会教育長の任命について

氏名　**海老澤（えびさわ）　勤（つとむ）**

任期　令和元年10月1日から令和3年3月31日

討論

上程された議案等に対し、下記の討論がありました。
（登壇順に記載しています）

《議案第48号　利根町職員定数条例の一部を改正する条例》

反対討論　井　原　正　光　議員

人生100年時代にふさわしい社会を目指し、必要な介護・医療・福祉サービスを一体的に提供されていることは理解しています。ただ、総合的相談体制の確立を図るために、精神保健福祉士の配置でいいのか。精神保健福祉士は、精神障害専門員。精神障害者社会施設等、病院・保健所で必要とする専門職。高齢者人口増加に伴いどこまで支援事業を拡大するのかを示し、外部委託を含め採用の再考をお願いし反対します。

賛成討論　大　越　勇　一　議員

高齢化が進む中、8050問題（80代の親と50代の子の世帯収入や介護等の問題）などを抱えており、今後は主任介護専門員や精神保健福祉士の専門職が必要であると思いますので、この議案に賛成いたします。

反対討論　石　井　公一郎　議員

主任ケアマネージャーを置かなければならないというような決まりがあり、これについては理解しております。精神保健福祉士においては、置かなければならないとは言っておりませんので、再度考えていただいて、委託に出したらいいのか、その辺をよく考えていただきたいと思って反対いたします。

賛成討論　峯　山　典　明　議員

リハビリ施設等、医療の現場で働いて感じたことは体が不自由で支援を求める人たちに対応するには専門知識が必要であること。万が一何か起きた時、一般の職員では対処することはできません。それだけ専門知識を持った専門家の価値は高いです。利根町は高齢化が進み、しょうがいを持つ方たちも増えていくはずです。サポートを求める人たちのために専門家を今のうちに採用し、今後訪れるであろう万が一のために備えることが必要です。

賛成討論　山　﨑　誠一郎　議員

社会福祉士の採用ですが、今、日本では毎年約３万人の自殺者が出ており、学校でも色々な問題で約６千人の教職員の方が学校に出て来られないという事態が起きています。このような問題に対して早めに対応しておくという事が非常に重要だと思います。人の命と災害を一緒にはできませんが、最善の手を打って備えておくことが行政の一番やるべきことだという思いでおりますので、私は賛成いたします。

反対討論　片　山　　啓　議員

この条例の改正（案）は、職員の定数を増員するという改正案です。資格者の必要性は十分理解しておりますが、利根町は町税よりも人件費の方が高いという現実があります。そういう中で職員の定数を増やすということには反対致します。資格者の確保は現定数の中で賄っていく努力が当然のことであり、行政の務めである観点から反対致します。

《議案第51号　消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例》

反対討論　井　原　正　光　　議員

消費税等を使用料等へ転嫁に反対する。町が事業者として、資産の貸付け等、役務の提供は課税の対象となることから、税負担の円滑かつ適正な転嫁を基本とする。このことに旧利根中敷地、集落センターなど遺漏している。答弁では、各施設の事情を考慮して改正しなかった。

反対討論　峯　山　典　明　　議員

利根町はスポーツ・文化活動を支援するとおっしゃっています。ですから、いつでもどのような環境であっても使いやすい、そのような町であって欲しいと願っています。消費税増税に伴う引き上げでも町には頑張ってもらいたいです。地域活性化するにはスポーツ・文化活動が重要です。毎日のやりがい、生きがいも重要です。今回認めてしまえば今後も同様に金額が引き上げられ、皆さんが活動しにくくなる可能性があるため反対します。

反対討論　石　井　公一郎　　議員

先程の説明を聞いていますと、各課から提出のあったものを取りまとめた。そこで全部消費税２％上げたというようなことであれば問題ないのだけれど、一部のものだけが消費税を上げないということは、私は通らないと思う。消費税を課税しないということは大きな問題であるので反対します。

《議案第62号　平成30年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件》

賛成討論　石井　公一郎　　議員

私の一般質問で基金が約２億円あるので管理料をもう少し引き下げることも必要ではないか。これに対して町長は前向きに検討しますというような答弁だったのでこの議案について賛成します。

《議案第66号　利根町教育委員会教育長の任命について》

賛成討論　五十嵐　辰　雄　　議員

海老澤勤氏は教育長として適任だと思います。利根町教育委員会で指導室長として５年間在職し、利根中学校長を歴任しました。教育には誠心誠意情熱を傾注、学校づくりに取組まれました。利根町の教育に関しては熟知しております。さらに、県南教育事務所に勤務していたときは、いじめ問題を専門的に担当しておりました。また、利根町の教育行政の一番の課題は、小・中学校の統合です。新教育長の手腕に期待し、賛成の討論と致します。

賛成討論　若　泉　昌　寿　　議員

これまでの教育長は任期を満了することがなく退任されています。教育長不在の中、海老澤氏が利根町に来てくださいました。海老澤氏は、私も前から知っておりますので安心です。今後の利根町の教育行政をしっかりとやっていただくよう大いに期待し、賛成いたします。

賛成討論　山　﨑　誠一郎　　議員

海老澤氏は長らく利根町の指導室長を務められ利根中学校長等を歴任し、退職後から先月まで県南教育事務所で教職員の指導をされておりました。このように教育長としてふさわしい知識や経験等を持ち合わせております。相当な人脈も想像でき、能力のある素晴らしい先生方の人事も期待できます。以上のことから賛成いたします。

「過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての陳情書」を可決・採択

全国過疎地域自立促進連盟茨城県支部長　上遠野　修　氏より標記の陳情書が提出されました。これを受け、総務産業建設常任委員会で審査した結果「採択すべきもの」として議会に報告し、本会議で可決・採択されました。なお、関係機関に提出した意見書は下記のとおりです。

＜過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての意見書＞

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、４次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和３年３月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

○提出先：内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣

▽報　告　井原　正光　総務産業建設常任委員会委員長

当委員会は、令和元年９月５日に付託されました「陳情第９号　過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての陳情書」について、慎重に審査した結果、採択すべきものと決定したので、会議規則第94条１項の規定により報告をいたします。

次に審査の内容、結果について申し上げます。

当委員会は、2019年９月12日議会会議室において、午後３時45分、総務産業建設常任委員会を開会いたしました。出席委員は全員です。説明者として行政側から川上企画課長、永田係長、財政課から大越財政課長補佐、木村係長の出席を求めました。

まず、行政側から過疎地域自立促進特別措置法と、過去の過疎３法の概要について説明があり、質疑に入りました。委員からは、これまでの過疎債の借入状況、将来の償還状況について、また、過疎債における事業の成果等について質疑がありました。行政側から、住民福祉の向上、地域格差の是正等が図られているとの説明がありました。

当委員会といたしましては、今後、利根町が進展する中で、まち・ひと・しごと創生の好循環に確立し、自立促進を図る上で、新たな過疎対策法の立法化が必要との結論に至り、全会一致で採択すべきものと決定しました。

町政のここが聞きたい　一般質問

（このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。 記事は各議員が作成したものです。）

問 防災の手引の住民への周知の方法は
答 町が主体的に周知をする考えはない　片山　啓 議員

問 1．マップに旧東文間小学校が記載されているが訂正する考えは。2．防災の手引の住民への周知の方法は。3．災害時要支援者名簿の取り扱いと支援の仕方について。4．町管理の橋梁の耐震化診断と要補修橋梁の数は。5．台風15号の対応について、お粗末だったのでは。6．今年度の防災訓練について小中学校の参加は。また防災無線を使って周知するべきでは。

答 1．訂正するつもりはない。2．町が主体的に行う考えはなく、各区や団体が希望すれば出前講座等で話をする考えはある。3．個人情報保護法の観点から中々周囲に公開出来ないので取り扱いに苦慮している。今後本人の了解を得る努力をし、災害時に有効に活用できるようにしたい。4．耐震診断は終了し、12橋が措置必要な橋である。5．そのとおりであったと認識している。検討した結果職員を2名待機させただけだった。6．学校が休みのため参加要請はしない。防災無線は確認する。

問 公共施設の利便性向上策（公民館にエレベーターの設置）について

答 なるべく早く整えたいと考える。

問 小学校の統合について

答 令和5年度に現布川小学校に統合が必要との答申が出ている。来年3月までに方針を決定する。事前にパブリックコメントを実施し、住民の声を聞く。

問 第5次利根町総合振興計画を達成するためどの程度の予算を考えているか。

答 当初3カ年54億4千万円を予定する。見込額が算出できる事業のみである。

問 県の許可制度を市町村へ権限移譲を
答 地方分権推進法による受入れ体制の整備　五十嵐　辰　雄 議員

問 超少子高齢化・人口減少等は直面する深刻な課題となっています。茨城県では基礎自治体である市町村において合併の進展等による行政体制の整備等に伴い、行政サービスの一層の拡大･向上を踏まえ「市町村への権限移譲方針」を策定しました。

市町村が地域における総合行政を担うことが出来るよう、県と市町村の適切な役割分担のもと権限移譲を計画的に推進する必要があります。移譲対象事務を項目ごとにお答えください。

答 地方自治制度の基本原則である基礎自治体優先の原則という考え方に基づき、住民に身近な事務は市町村が行うことにより、利便性の向上や事務処理の迅速化などを図るものです。市町村の自治権の拡充による総合行政の推進については、市町村が単独で移譲を受けることが困難な場合、周辺自治体と共同、処理という手法を活用する、広域連携による権限移譲という方策もあります。

①農地法に関する権限移譲については。令和2年4月から4ヘクタール未満の農地転用の許可に関する権限移譲を受ける予定で、県と協議しています。

②土地利用に関する開発行為の権限移譲については。開発許可制度は、市街化区域と市街化調整区域の区域区分である線引き制度により、良好な安全な市街地の形成を無秩序な市街化の防止を目的としています。行政組織である市町村が開発行為の許可等を行うことが望ましいが、当町では、都市計画行政の経験が豊かな職員が少なく、専門職員が不足し体制が不十分で、受入れは難しいと考えています。

③周辺自治体と連携して受入れ体制の整備。県の指導に基づき、利根町、河内町、阿見町、美浦村、大洗町の5町村で勉強会を開いて権限移譲を進める予定です。

一般質問

（このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。 記事は各議員が作成したものです。）

問 利根町産米のブランド化について
答 良質な米を安定的に生産していく　　大越勇一議員

問 利根町産米のブランド化について伺います。ブランド米と言うと、新潟県魚沼産コシヒカリが有名ですが、江戸時代には、既に讃岐米や庄内米といったブランド米が存在していました。現在各地で新品種が発表されたことで今や300種類に近いブランド米が誕生しています。

美味しいお米を見極めるものに米の食味ランキングというものがあります。炊いた白米を実食して、特に味の良い銘柄を特Ａ評価とし、以下Ａ評価、Ａ´評価、Ｂ評価、Ｃ評価まで５段階に分けて評価したものです。美味しいお米というイメージの強いブランド米、しかし実際のところ明確な基準はありません。コシヒカリや、あきたこまちなど特に美味しいと人気のお米に対して、ブランド米と言う言葉が使われることが多いようです。

利根町産米コシヒカリも佐々木町長のトップセールスにより、都会ではなかなか味わうことのできない美味しいお米だと絶賛されるようになりました。知名度が向上している今、利根町産米のブランド化について、今後どのように考えているのかプランなどありましたらお伺いいたします。

答 ブランド化については、生産者の協力が必要になります。農業人口の減少や高齢化が進行し、町の農業を支える担い手不足が進んでおります。良質な米を安定的に生産するため、まだ未整備となっている圃場の基盤整備を進め、生産基盤を整備していくことが必要と思われます。栽培に適した圃場を整備することで、現在よりもより良質な米をより安定的に生産することが可能になり、やる気のある若い担い手が増えることも期待できます。今後も安定的に良質なお米を生産していくことが、将来利根町産のお米のブランド化につながっていくことになると期待しております。

問 交通安全対策について
答 警察署、学校、地域にお願いしていく　　若泉昌寿議員

問 現在利根町は死亡事故が10年間起きておりません。これは町民の皆さんが常に交通事故に対して注意しているとともに町の努力と思っております。

今後本町で死亡事故は勿論、交通事故が無い事を願い、交通安全対策について考えを伺います。

1．小中学校の交通安全対策について
2．現在小学校３校ありますが先々はどこの学校になるのか
3．高齢者安全対策は

答 町として交通安全対策については町、警察、学校、ＰＴＡ、地域の多くの皆さんが見守っていただくおかげで、児童生徒は安全で安心して通学しておりますので今後もお願いしていきます。また小学校は３校ありますが先行は１校になります。今の所は布川小学校になると思いますがまだ正式には決まってはおりません。

高齢者の交通安全対策では免許証自主返納支援事業を実施しており昨年１年間で85名の返納がありました。事業を開始した平成30年６月１日より本年７月末まで128名の方が申請しています。タクシー券また買い物ツアー等も行い無料の福祉バスを活用していいただけるよう推進してまいります。

問 お米の広告なぜ北方十字路に設置したか
答 町の基幹産業は米、とねりんＰＲが目的　石　井　公一郎 議員

問 県道４号線北方十字路にお米の広告、なぜ町外に設置したか。町内に設置すべきと思うが､広告の設置費用は。広報「とね」にウエルネススポーツ大学のレストランで長野県筑北村のコシヒカリを使用している。町は利根町産のコシヒカリを宣伝しているので、長野県のコシヒカリの掲載は遠慮していただきたかったがどうか。

答 これはあくまでも観光協会委員の皆さんが「はい、いいですよ」と答えて設置した。最初の１年は約 43 万円、31 年度は 32 万円。大学側が伝えたいことを尊重し、原稿に手を加えず原文をそのまま掲載した。

問 町営霊園の管理料の中で納骨堂を作ることは適切か。また基金が約２億円あり、管理料の見直しで値下げはどうか。

答 現在の納骨スペースが限界、将来を見込んで収納数を増やす。管理料の値下げは相談しながらしていくと考えている。

問 押付地区水防センターは豪雨時に水が溜まり抜けない状態であり排水はどうなっているのか伺います。

答 水防センターの駐車場敷地内の雨水処理方法は浸透式となっている。浸透ますの中の清掃等を心がけてやっていきます。

問 町道 104 号線ホクサ工場前の国有地について、土地の明け渡しを求める民事訴訟の提起、対策をとるとの答弁があったがその後の進捗状況はどうか。

答 占有している土地のすべての明け渡しを求める訴えを令和元年７月４日水戸地方裁判所竜ケ崎支部に提起している。

問 ネットワーク型社会教育行政の実質化は
答 教育委員会と町長部局で取り組みを図る　石　山　肖　子 議員

問 地域の教育力を醸成するための生涯学習の機会として MOOC（大規模公開オンライン講座）をどう考えているか。

答 講座等の受講者からの要望はなく、MOOC を活用した学びについては考えていない。

問 中教審の答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」に記載の「ネットワーク型行政の実質化」での教育委員会・町長部局・他部局との連携の見通しは。

答 教育委員会と町長部局による情報の共有や交換、連携をした取り組みを図っていきたい。

問 2020 年度より開始予定の社会教育士の活用は。

答 町職員の中で社会教育主事の資格者が８名おり、このうち２名が生涯学習課に在籍している。

問 町立図書館と学校図書館の連携による子どもの居場所づくりは。例えばプログラミング講座を開催している公共図書館の例もあるが。

答 町図書館には適した部屋もなく現実には難しい。

4 質の高い教育をみんなに

持続可能な開発目標（SDGs）4
＜質の高い教育をみんなに＞
すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

一般質問

（このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。 記事は各議員が作成したものです。）

問 町長からの議会干渉の公文書について
答 スムーズな議事進行をお願いした　　井原正光議員

問 船川京子議長あて、佐々木喜章町長から出された公文書について

答 議会に干渉しようとするのでなく、議長の権限により円滑な議会運営・スムーズな議事進行をお願いした。
（総務課長）町長の指示によって文書を出した。住民・傍聴の方に分かりやすい議会を求め、必要と感じた。

問 学校給食費の取扱いを公会計化し、教員の負担軽減を図り、職能開発に時間を向けてはどうか。

答 学校給食の公会計化は、次年度より適用できるよう準備しています。
（学校教育課長）各学校に１名いる事務教諭が処理している。当然学校が行う業務だが、最終的に決済・管理は学校長が見ている。令和２年度から事務改善を図り、学校事務の統一化を進めている段階です。

問 福祉バス運行上の安全対策について

答 福祉バス運行管理マニュアルを策定し、運転手と職員に周知徹底を図った。１つ目は、運転前後の点呼の実施、運行中の運転手・乗客の注意点など。２つ目は、運行時の地震・火災などの災害時の対応や運行中の事故発生時の行動などを規定したマニュアルを策定した。
（保健福祉センター所長）バス２台の車両とも前後の録画ができるよう、ドライブレコーダーを設置しました。

問 若草大橋通行無料化について進捗状況は
答 １市２町で知事に要望書を上げる予定　　峯山典明議員

問 福ちゃん号、大利根交通を含めた町民の移動手段の確保について

答 今後要望や利用状況を踏まえながら必要に応じてダイヤ改正などを行い、利便性の向上を図っていく。

問 茨城県南水道企業団事業経営戦略プランの2029年度までの計画によると、今後10年間で20％水道料金を値上げすると明記されています。値上げについて町はどのように認識されているか。

答 将来にわたり安心安全な水道水を供給していくために必要である場合は、値上げもやむを得ないと認識している。

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略について。⑴給食費の助成金を第１子と第２子にも。利根町の子ども子育て支援事業計画では「すべての子育て家庭を支援する」と記載があります。⑵縮小されたランドセル贈呈事業の見直しを。日立市を見習えば全ご家庭に贈呈しても４百万円余る。今までの６分の１の予算でできる。⑶児童下校時見守りボランティアの支援は。⑷町の特色を活かした教育とは

答 ⑴今のところ第１子、第２子への交付予定はない。子ども子育て支援事業計画は経済的支援に特化したものではない。⑵皆さんに贈呈するのではなく真に必要な方だけに支給する。お金は学校教育、ICTとか色々なものに使う。⑶ベストの支給は検討させていただきたい。下校だけでなく登校時も同じ支援。保険も対応している。⑷１小学校１田んぼ事業、ウェルネス大が陸上記録会で準備や記録の協力、東京藝大が小中学校の絵画の学習支援、小中学校の連携、学期に一回挨拶運動をしている。

問 公民館へエレベーターを設置する考えは
答 必要だと思うので、今後検討していく　山　﨑　誠一郎 議員

問 公民館等で各種サークルや講演会、産業文化祭などイベント時の重い荷物の上げ下げ、階段の昇降等はかなりの負担です。この負担を軽減するため、また高齢者に優しい町づくりとして公共施設へのエレベーターを設置する考えについて伺います。

答 去年の地場産業祭においては職員が自ら荷物の移動を手伝った実績があります。私もエレベーターは必要だと思っておりますので、関係者間で検討したいと考えています。

問 栄橋の渋滞が解消しないのは、若草大橋の先線である千葉県側 464 号線への延伸が進まず、若草大橋の利用促進が図られていないことによります。この道路が延伸されれば、千葉・茨城の両県に活性化のメリットが生まれます。法律では若草大橋の無料化は令和 18 年以降だが、無料化の早期実現と延伸道路の整備について、千葉県側との連携はどうなっているのか伺います。

答 町の将来計画に関わる重要な課題と認識しております。我孫子市・印西市・栄町とは各協議会等で連携しておりますが、更なる連携強化を働き掛けてまいります。

問 魅力度アップのために茨城県はＳＮＳを活用しています。本町も知名度アップのため、桜堤のイベントや米、旬の特集及びハイキング・観光スポット等の情報を見やすく分かりやすくＳＮＳ上で発信してはいかがでしょうか。さらにＹｏｕＴｕｂｅの活用も有効であると考えます。

答 （企画課長）情報発信について特に力を入れていきたいと思っております。これまで以上に利根町の知名度の向上を図ってまいります。

問 健康増進センターの進捗について伺う
答 情報収集、課題などを見出していく　花　嶋　美清雄 議員

問 健康増進センターの進捗状況を伺う。

答 （町長）２カ所の健康増進施設を視察し、また、今年度、健康増進施設に関する町民の方々の意向やニーズ等を把握するため、公募により参加いただいた町民の方々を年代別のグループに分け、ご自身の健康づくりの取り組みや温浴施設、運動施設の利用状況など、インタビュー形式でご意見を伺った。町民の方々を対象としたアンケート調査も今後実施する予定。

問 就学ランドセル支給事業の縮減の会議の内容を詳しく伺う。

答 （学校教育課長）昨年度２回にわたり、総合教育会議で教育的効果の上がる事業について検討していただき、保護者負担の原則に立ち返る事業の見直しについてもご意見をいただいた。

課内で事業縮減への見直しを検証し、定例教育委員会終了後に数回にわたり教育委員との意見交換を行い、本事業においては所得制限を設け、真に支援が必要だと思われる保護者について継続して事業を行っていくということで承諾をいただいた。

問 小中学校の熱中症対策について伺う。

答 （学校教育課長）朝の登校時においても体調不良が心配されることから、水筒を用意し、必ず帽子を着用することを指導している。また、熱中症の要因の一つに体調不良が挙げられるため、十分な睡眠と朝食をしっかり食べて登校するようお願いしている。それでもなお登下校時に体調が悪くなった場合には、地域の方々または子供を守る110番の家で休ませてもらうよう、あわせて指導している。

議会活動

議員活動

第 70 回利根川治水同盟治水大会

令和元年８月７日（水）に茨城県常総市で標記大会が開催され、当町からは７名の議員が出席しました。大会では講演をはじめ、令和元年度利根川治水の主要事業概要説明、意見発表、大会宣言・決議などが行なわれました。

常総市地域交流センター

令和元年度町村議会広報研修会

報告：石山　肖子　議会広報編集委員会委員長

令和元年９月 24 日（火）に開催された町村議会広報研修会に議員９名が参加しましたのでご報告致します。

【主催】全国町村議会議長会　　【場所】東京都千代田区　シェーンバッハ・サボー

1.「読者目線で親切な広報誌を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」
　講師：『月刊総務』編集長　豊田　健一氏

2.「情報をわかりやすく伝える」
　講師：朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長
　　前田　安正氏

3.「町村議会広報コンクール
　　上位入賞団体の評価ポイント」
　講師：エディター　吉村　潔氏

令和元年度自治振興セミナー

報告：石山　肖子　議員

令和元年 10 月 10 日（木）に、全国町村会館において一般財団法人地方自治研究機構主催の自治振興セミナーが開催され、議員４名が受講しましたのでご報告いたします。

1.「転換期を迎えた日本の地方自治
　　―人口減少時代、持続可能な自治体とは―」
　講師：中央大学名誉教授　佐々木　信夫氏

2.「地方自治体が担う医療介護の今後」
　講師：慶應義塾大学経済学部教授　土居　丈朗氏

3.「地方議会改革と政策立案機能
　　―住民自治の根幹」としての議会を作動させる―」
　講師：山梨学院大学大学院法学部教授　江藤　俊昭氏

小学生の議場見学

10月1日(火)布川小学校、10月2日(水)文間小学校、各6年生の皆さんが議場見学に訪れ、議会のしくみについて勉強されました。

布川小学校6年生

文間小学校6年生

利根町議会日誌（令和元年７・８・９月）

活動内容	
７月	
1	市町村総合事務組合議会（臨時会）
〃	令和元年度竜ヶ崎土木協会定期総会
2	令和元年度通常総会（利根地区法人会）
3	令和元年度霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟総会
5	第８回利根町自治基本条例検討委員会
9	龍ケ崎地方衛生組合議会全員協議会
13	令和元年度利根町ＰＴＡ連絡協議会夏季研修会
17	古河駐屯地納涼大会
22	令和元年度成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会（ＪＲ東日本への要望活動）
24	茨城県国民健康保険運営協議会長会令和元年度会長調査研究会（～25日）
27	白鷺の街自治会納涼大会
〃	大房祇園祭
〃	布川台町会夏祭り・納涼大会
〃	羽根野台自治会夏祭り
〃	利根フレッシュタウン自治会納涼盆踊り大会
29	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
〃	令和元年第２回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
30	令和元年度第１回市町村負担金審議委員会
〃	龍ケ崎地方衛生組合議会全員協議会
〃	令和元年第１回龍ケ崎地方衛生組合議会臨時会
31	利根町国民健康保険運営協議会
８月	
1	**議会広報編集委員会**
2	第９回利根町自治基本条例検討委員会
〃	令和元年第２回茨城県南水道企業団議会定例会

活動内容	
８月	
3	八幡台自治会納涼大会
〃	利根ニュータウン自治会夏祭り
4	令和元年第９回チャリティー演芸友の発表会
6	令和元年第２回茨城県市町村総合事務組合議会定例会
7	県南町村議会議長会
〃	**第70回利根川治水同盟治水大会**
10	第66回とりで利根川大花火
17	第42回利根町民納涼花火大会
19	令和元年度取手・守谷・利根地域医療協議会総会
20	利根町戦没者追悼式式典
22	令和元年第２回定例会（町村長・議長合同会議）
24	もえぎ野台自治会夏祭り
〃	四季の丘納涼祭
29	**議会運営委員会**
〃	令和元年度定期総会（県南町村会）
30	第10回利根町自治基本条例検討委員会
〃	令和元年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会総会
〃	龍ケ崎地方塵芥処理組合議会臨時会
９月	
5	**令和元年第３回議会定例会（～26日）**
7	令和元年度第13回体育祭（利根中学校）
9	**議会運営員会**
23	金刀比羅神社奉納相撲大会
24	令和元年度町村議会広報研修会
29	利根町敬老会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

第３回定例会の傍聴者数は、延べ100名でした。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場１階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町公式ホームページ（http://www.town.tone.ibaraki.jp/）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会
発行責任者／利根町議会議長　船川　京子
〒300-1696　茨城県北相馬郡利根町布川841-1
TEL 0297-68-2211　FAX 0297-68-6910
編集担当／大越　勇一・峯山　典明